

三河湾を望む睡天風呂で8人のおかみが最高の笑顔を見せた。愛知県蒲郡市の三谷温泉で



海岸線 ものかたり

愛知県蒲郡市
三河湾

波の揺りかご ②

甲高い笑い声が、厚い雲を払いのけたのか。さつきまで雨を落としていた空から、太陽がのぞいた。「私たちは晴れ女」。会場で集まった着物姿の女性8人が胸を張った。

愛知県蒲郡市の旅館を中心としたおかみグループ「こはせの会」が奮闘中だ。蒲郡の観光を盛り上げようと、イベントに参加したり、テレビ出演したり。最近ではユニホームの三河木綿を着る機会が増えた。

ハブル期以降、観光の主流は団体客から個人客に変

わった。三河の奥座敷と評された蒲郡も、大型バスで乗り入れる客は少なくなつた。東日本大震災後は自粛ムードも直撃した。

市内の西浦温泉の旅館「葵」のおかみ渡辺栄子さんが「葵」は2年前に、こはせの会の会長を引き受けた。「それぞれで頑張るんじゃなくてみんなで何かやりましょうよ。連絡や研修が主だった会の活動に新風を吹き込み、おかみたちは乗

「笑顔を」をつくり、おかみで、蒲郡の観光は「曇りのち晴れ」の予感。晴れ女のおかみたちが飛び切りの笑顔を待っている。

文・細井卓也
写真・畦地巧輝

笑顔でレディーGO!!

つた。

昨年から各旅館で始めた「蒲郡女将スイーツ」は若い女性客を呼び込んだ。おかみたちが各旅館に集まっておもてなしするカフェも「画期的」と評判になった。

「5月次の一手」と渡辺さんはメンバーに促す。今夏には会独自のブランド